

47期生 学年通信

Vol.22(2年8号)

2026.3.25 発行



< 後期総集編 2 >

11月には、ついに修学旅行を迎えました。行き先は台湾です。コロナ禍により一時中止となり、その後は国内に変更されていましたが、47期生より、成瀬高校の海外修学旅行が復活しました。

行程は、1日目が台北、2日目は高速鉄道(新幹線)で台南を訪問、3日目は現地高校との交流および班別行動、4日目は淡水散策という、意欲的な内容でした。しかし、2日目の台南訪問は台風の直撃を受け、当日の朝に予定を変更し、台北市街の散策となりました。事前学習で台南について学んでいたこともあり、実地で学ぶ機会を得られなかった点は残念ではありましたが、この経験をきっかけに、将来あらためて台南を訪れてくれる生徒がいれば、これほど嬉しいことはありません。

修学旅行の準備は、担当教員と一緒に旅行委員が中心となって、クラス内での班決めや交流校へのお土産づくりを行ったりしました。

日本と台湾の歴史や文化を学ぶことを目的とした今回の修学旅行では、故宮博物院で展示に見入る生徒、交流校で現地の高校生と積極的にコミュニケーションを取る生徒、台湾と日本の違いについて友人同士で語り合う生徒など、それぞれが主体的に学び、感じる姿が見られました。

この修学旅行での体験が、生徒一人ひとりにとって、世界に目を向けるきっかけとなり、今後の学びや進路選択につながる貴重な経験となってほしいと、願っています。

★★ 事前準備

交流校へのお土産として、成瀬高校の校章をデザインしたキーホルダーを作成しました。

また、交流校で披露する合唱曲(1年次の合唱祭課題曲「夢見たものは」)と、ソーラン節の練習を行いました。

練習に十分な時間をとることはできませんでしたが、小中学生からの記憶をたよりに、修学旅行開始前日の練習では力いっぱい体を動かしていました。





お天気は雨模様？

早朝の羽田空港から、2便に分かれて飛び立ちます。

人生初の海外旅行となる生徒も少なくなく、緊張した様子もありましたが、空港や機内での時間を過ごす中で次第に表情も和らぎ、友人と期待を語り合ったり、現地での体験に思いを膨らませたりする姿が見られました。新しい場所へのわくわくした気持ちが広がり、この後の行程への期待に胸を躍らせている様子が印象的でした。



天気は予報通り、曇り空。台風の動きを心配しながらの修学旅行開始となりました。



日本と同じもの。変わるもの。

夕食後のホテルに戻るまでの間に、コンビニに立ち寄ることになりました。日本でも見慣れた看板に安心を感じます。ところが、お店の中の香りが、日本とは大きく異なるのです！これは、まさに現地でしか体験できないことですね。

ちなみに。その香りの正体は、「八角」というスパイス。おでんコーナーには、八角の香りがする煮卵(茶葉蛋)が売られています。



★★ 散策!

行程時間の多くは、バスで現地に移動して、決められた時間内で目的地を散策する。という流れで進んでいきました。友達で集まって、ショート動画を撮ってみたり、写真を撮りあってみたり。思い出がいっぱいです。



上まで競争しながら登って、下に向かって手を振っていました。元気!





台南に台風が直撃したため、急遽、行程に予定されていなかった台北101に行きました。

日本のスカイツリーとショッピング街という雰囲気。本来はお買い物予定ではありませんでしたが、ついつい、台湾限定品に購買意欲が刺激されてしまった生徒もいたようです。



★★ 交流校での活動

交流校では、バス到着時から、先方の高校生が会場に案内をするなど、リードしていただきました。はじめは緊張した面持ちだった成瀬高校の生徒も、少しずつ打ち解けていく様子が見られました。全大会の会場では、列ごとに先方の生徒さんと成瀬高校生が座り、前後の席で話がしやすいように配慮していただきました。

迫力ある演武などを見せていただいた一方、本校からはダンス部のダンスをはじめ、全員による合唱やソーラン節を披露しました。



その後、クラスごとに分かれて、テーマごとの学びを行いました。あるクラスでは、台湾文化をテーマにしたクイズ。あるクラスでは、駄菓子体験。染物…などです。



★★ 台湾から帰った後は…

東京都より「海外探究フィールドワーク指定校」として、補助金をいただいていた関係で、帰国後の事後学習は、国連大学を会場として行うことになりました。

「Grow Your Global Entrepreneur Mindset ～AI時代を生き抜くために必要なこと～」のタイトルで、TIB Studentsアントレプレナーシップ育成プログラムよりご紹介いただいた、小田嶋Alex太輔様に御講演いただきました。

「衰退期にある日本」という現実を踏まえたうえで、AIも導入されるこれからの社会の中で、我々が“地球人”としての視点を持ち、どのように未来を描いていけばよいのか。というインパクトのある内容を、生徒にもわかりやすく伝えていただきました。世界の様相をリアルに語る演者の言葉は、日ごろの授業で聞く内容以上の重みをもっていただいていたように感じました。

午後は、探究をさらに深めるために科学技術館を見学しました。館内には小学生も多く見られましたが、高校生は原理や専門用語をしっかりと理解しながら活動しており、学びを深める姿が見られました。



★★ 次号

合唱祭を特集します！

